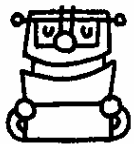


小 / 理科 / 6年 / 地球と宇宙 /  
大地のしくみ / 理解シート

## 岩石の種類は、たい積岩と火成岩しかないの



大きな分け方をすると2種類だけど、たい積岩や火成岩が、熱や圧力で変化した、<sup>へんせいがん</sup>変成岩というものがあるのさ。

**水のはたらきでできるたい積岩、マグマが冷えてできた火成岩**

岩石のおもなものは、おもに水のはたらきでできるたい積岩と、火山のふん火で出てきた地下のマグマが、冷えて固まってできる火成岩の2つに分けられます。

たい積岩は、水が運んだ小石やどしゃが長い間積み重なってできた地層が、おしかためられてできます。しかもようになった地層の、小石まじりの部分が固まったか砂すなの部分ぶんぶんが固まったかで、れき岩、砂岩さがんなどの種類に分けられます。海底でサンゴや貝がらが積み重なってできた石灰岩せっかいがんも、たい積岩です。

火成岩は、マグマの成分や、ふくまれているガスの量、冷えるときの条件のちがいで、さまざまな岩石ができてきます。ゆっくり冷えてできた、つぶが大きいかこう岩や、急に冷やされたため、つぶが見られない流もん岩、ガラスのような岩石になった黒曜石、ガスをふき出したあながたくさんある軽石などがあります。

**たい積岩や火成岩が、さらに変化した変成岩がある**

地下にあったたい積岩のすき間に、熱いマグマやよう岩が入りこんでくると、その熱でたい積岩が変化して、変成岩とよばれるものになります。石灰岩が熱を受けると、大理石に変化します。ビルのかべや柱に使われた大理石に、サンゴの化石などが見つかるのは、もとがたい積岩の石灰岩だからです。

たい積岩のでい岩が、地下深いところにおしこめられると、強い圧力（おす力）や高温で、かたいねん板岩になり、さらに、筋すじのあるせんまい岩、へんま岩まで変化します。また、積み重なった火山灰かざんばいなどが固まってできたぎょう灰岩かいがんは、緑色の緑色片岩に変化します。このように変化してできた岩石は、変成岩とよばれます。



大理石って、たい積岩が変化した変成岩なのね。